

令和5年8月25日

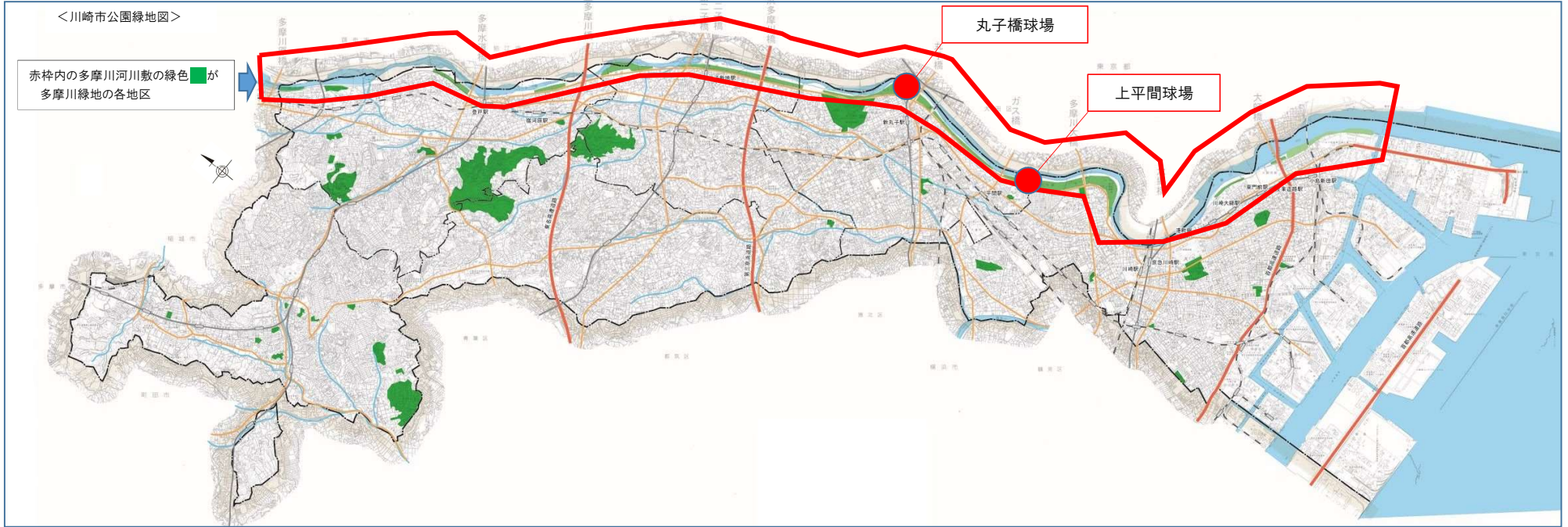
まちづくり委員会資料

請願第3号

川崎市立高等学校の硬式野球場確保に関する請願

建設緑政局

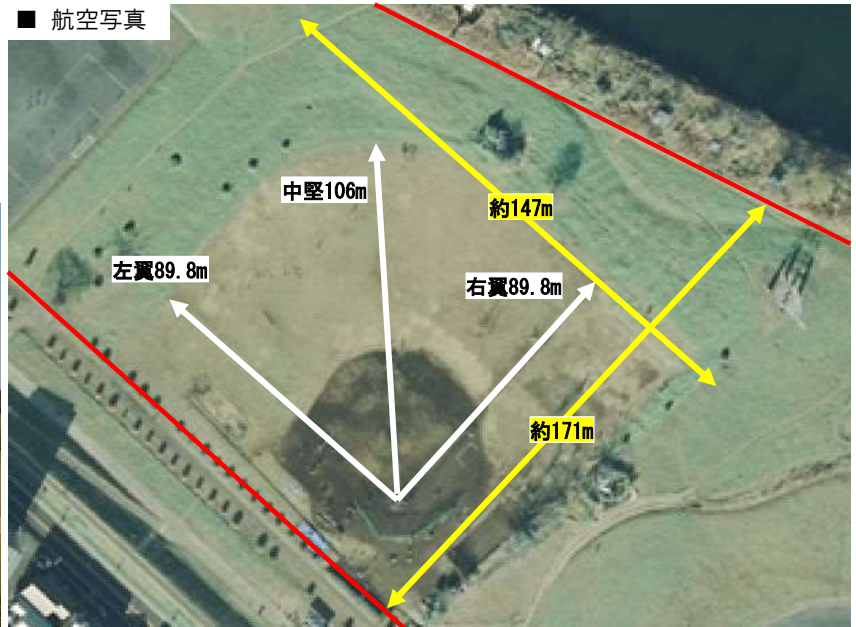
1. 請願箇所の概要（上平間球場について）



2. 上平間球場周辺エリアの状況について

- 上平間球場の概要
- 所在地：川崎市中原区上平間地内（多摩川緑地上平間地区）
- 施設の種類：軟式野球場（一般用）
- 面積：11,836m²
- 開設年次：昭和44年
- 使用料：2時間500円

■ 全景



3. 丸子橋球場について

■ 丸子橋球場（硬式）の概要

- 所在地：川崎市中原区上丸子天神町地内（多摩川緑地上丸子天神町地区）
- 施設の種類：硬式野球場（一般用）
- 面積：13,459m²
- 開設年次：平成27年
- 使用料：2時間2,540円

■ 防球関連施設

施設名	高さ	長さ (m)
バックネット	8.0m	23.0m
防球ネット (内野)	3.1m	192.0m
防球ネット (丸子橋第3広場側)	3.1m	45.0m
外周ネット (外野)	1.0m	229.0m

■ 全景

- 丸子橋球場
- 上丸子天神町第4球場
- 多摩川河川敷多目的散策路 (マラソンコース)



バックネット (高さ8m)

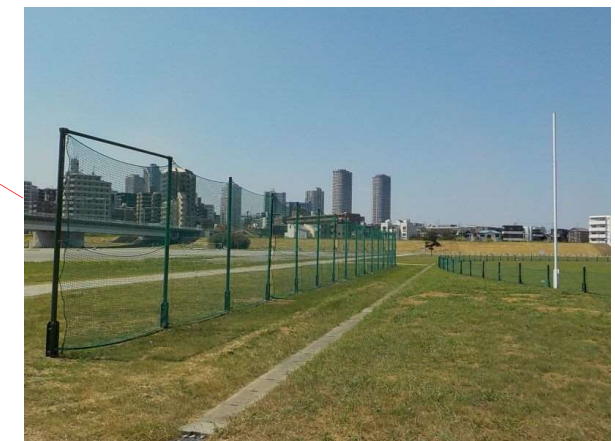


外周ネット (高さ1m)

■ 航空写真



防球ネット (高さ3.1m) [岸辺の散策路側]



防球ネット (高さ3.1m) [丸子橋第3広場側]

4. 上平間球場と丸子橋球場の大きさの比較について

項目	上平間球場	丸子橋球場	公認野球規則
両翼（レフト・ライト）	89.8m	97.0m	約76.2m以上 (理想:97.534m以上)
中堅（センター）	106.0m	122.0m	約76.2m以上 (理想:121.918m以上)
球場周辺エリアの縦距離 (上流-下流間の距離)	約147m	約174m	
球場周辺エリアの横距離 (マラソンコースからの距離)	約171m	約224m	
面積	11,836m ²	13,459m ²	

5. 上平間球場を硬式野球場として整備する際の課題

- ・硬式野球場は硬球を使用することから、利用者（プレイヤー）及び、他の多摩川緑地利用者に対する安全確保が大変重要である。
- ・上平間球場は軟式野球場であることから、硬球の飛び出しを防止する必要な高さ具备了防球フェンスや、球場周辺での広いスペースの確保など安全性に課題がある。
- ・当該エリアは、陸上競技場やサッカー場などの施設、特に利用者の多いマラソンコースに近接し、離隔距離が確保できない状況から、安全対策が困難となっている。
- ・台風が発生時など河川が増水する可能性がある場合には、事前に防球ネット等の施設の撤去等を行わなければならない、大規模な防球ネット等を設置した場合、撤去等の費用が高額になる。
- ・整備にあたっては、河川管理者である国土交通省の許可が必要となる。

【丸子橋球場のバックネット(高さ8m)の撤去作業状況】



撤去作業前 → 撤去作業後

6. 多摩川緑地の硬式野球場の利用について

- ・多摩川緑地硬式野球場：丸子橋球場、上丸子天神町第4球場（2球場）
- ・利用調整方法：多摩川丸子橋硬式野球利用チーム登録の5チーム（社会人1チーム、中学生4チーム）で土日・祝・夏休み等長期休暇の利用調整を行っている。
- ・市立高校2校（橘・川崎総合科学）は、主に利用予約がない平日に利用している。

7. 川崎市立高等学校における硬式野球場への対応について

【現状】

市立高等学校の硬式野球部の活動につきましては、関係局の協力による市内硬式野球場等の利用や、各学校の実情に応じて、自校のグラウンドや市外への遠征など創意工夫しながら、場所の確保に努めている。

【今後の取組】

今後、硬式野球場の利用について意向確認を行い、多摩川緑地において硬式野球場の利用枠の確保が必要な場合は、既存施設の利用について協議・検討を行う。

8. 請願の要旨に対する本市の考え方について

【請願の要旨】

現在、軟式球場として使用している上平間球場を、硬式野球場として整備してください。

No.	請願の内容	本市の考え方
1	現状硬式野球場と同等の広さを持つ上平間球場を、多くの市立高校野球部生徒が伸び伸びと安心して野球ができる硬式専用野球場として整備していただきたい。	多摩川緑地における硬式野球場の整備については、緑地利用者の安全確保が大変重要であるため、必要な高さ具备了防球フェンスや、球場周辺に安全を確保できる広いスペースなどが必要となります。上平間球場を含めたエリアにおいては、利用者の多いマラソンコース等の隣接施設からの離隔距離が確保できない状況から、硬式野球場の整備は難しいものと考えております。
2	白球を追い続ける地元川崎の高校球児たちの願いをかなえていただきたい。	多摩川緑地内における既存の二つの硬式野球場の土日祝日の利用については、現在、社会人及び中学生の5チームで利用しておりますが、市立高校硬式野球部の利用も可能でございますので、教育委員会や学校の意向を十分踏まえた上で、対応してまいりたいと考えております。